
東芝国際交流財団 25周年記念

国際シンポジウム「2020年へ、日本は世界に何を発信できるか」のご案内
～「日本力」を世界へ 森喜朗元首相ほか国内外の識者が議論

各位

平素より東芝国際交流財団の活動にご高配を賜り誠にありがとうございます。

東芝国際交流財団は設立25周年を記念し、日本経済新聞社、日本経済研究センターと共催で国際シンポジウム「2020年へ、日本は世界に何を発信できるか」を実施します。

1964年10月の東京五輪開催からちょうど50年。2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックなど、再び大型の国際スポーツ大会を控え、日本はこの機会を戦略的に活用し、魅力を世界に訴えていくべきではないでしょうか。

日本ならではの価値観・美意識など魅力の源泉はどこにあるのか。日本がさらに磨くべき点・失ってはいけない点は何か。国際スポーツ大会の後に何を遺産として引き継いでいくべきか――。

第一部では日本の歴史・文化に詳しい海外の講師が、日本人自身が気づきにくい点を含めて分析します。第二部ではその分析を踏まえ、産業、経済、統計など幅広い観点から学識者が議論します。これらの議論を通じて「日本力」を世界に提案します。

◆東芝国際交流財団 25周年記念

国際シンポジウム「2020年へ、日本は世界に何を発信できるか」

◆日時 10月3日（金）13:00～16:40

◆会場 日経ホール（千代田区大手町1-3-7）

東京メトロ、都営地下鉄「大手町駅」下車 C2b 出口直結

<http://www.nikkei-hall.com/access/index.html>

◆プログラム

13:00～13:05 開会挨拶

西室 泰三 公益財団法人東芝国際交流財団 理事長

13:05～13:15 来賓挨拶

森 喜朗 元首相

公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会 副会長

一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 会長

13:15～14:15 第一部 講演「海外から見た日本への期待」

バラク・クシュナー 英ケンブリッジ大学 准教授

キティ・プラサートスック タイ・タマサート大学 教授、東アジア研究所長

14:15～14:30 休 憩

14:30～16:30 第二部 パネル討論「日本力の世界への提案」

パネリスト

岡村 正 株式会社東芝 相談役

大田 弘子 政策研究大学院大学 教授

本川 裕 アルファ社会科学 主席研究員

間野 義之 早稲田大学 教授

モデレーター

寫 信彦 公益財団法人東芝国際交流財団 審査委員長

16:30～16:40 閉会挨拶

武藤 敏郎 大和総研 理事長

一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 事務総長

◆定員 600名 受講無料、事前登録制、応募締切は9月19日（金）

◆申込方法 公式ホームページからお申し込みください。応募多数の場合抽選。

◆公式ホームページ

<http://nihonryoku2020.jp/>

◆お問い合わせ

東芝国際交流財団 電話：03-3457-2733 メール：tifo@toshiba.co.jp